

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和5年度 第1回地域ケア推進会議を開催！



5月23日に、今年度第1回の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議が開催されました。

今回は、年度が替わって委員が変更になっていることから、顔合わせやこの会議の目的や進め方を共有し、昨年度の取り組みの振り返りを行いました。

併せて、生活支援コーディネーターの取り組みとして、高齢者の生活ごみに関する課題の取り組みについて報告がありました。

今年度もよろしくお祈いします！



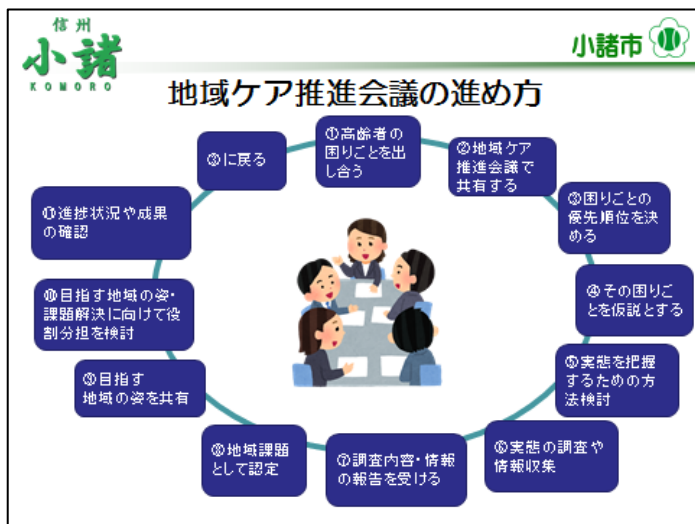
地域包括ケアシステム・地域ケア推進会議とは？

地域包括ケアとは、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護保険制度によるサービスのみならず、その他のフォーマルやインフォーマルの多様な社会資源を本人が活用できるようにするため、包括的および継続的に支援をすることです。

このような地域包括ケアを実現・増進するための「医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活支援が包括的に確保される体制・仕組み」を地域包括ケアシステムと言います。

人は誰しも、地域との関係の中で生活しています。高齢者等が地域での暮らしを継続するためには、地域との関係を踏まえた支援が必要です。地域包括ケアシステムは本人と地域との関わりを大切にしたいうえで、自助（自分でできること）、互助（家族・親戚・地域による支え合い）、共助（社会保険サービス）、公助（行政サービス）が一体となった支援を行う仕組みでもあります。

地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議は、市民・医療・介護・福祉・行政の代表者が、小諸市に暮らす高齢者の生活全般にわたる困りごとを広く出しあい、『小諸市の地域課題』を認定し、解決に向けた取り組みを推進していく会議です。その中でも、『生活支援・介護予防（暮らしの手段）』の分野に特化した課題については、生活支援体制整備推進会議として実態把握を行い、課題解決に向けた取り組みを進めています。



地域課題:「地域の担い手」について

昨年度から、地域ケア推進会議のテーマを『地域の担い手』についてとして取り組んでいます。検討の中で、小諸市の目指す地域の姿として、『元気高齢者が「地域の担い手」となって地域の様々な場所で活躍することで、「有用感」「居場所」「介護予防」等の良い効果を得て、高齢者がいきいきと高齢期を過ごすことのできる小諸市』としました。このため、対象とする元気高齢者を定年退職した60・70代とし、地域活動に参加することで得られる良い効果を伝えたり、自分が関心を持つことができる地域活動を知るきっかけとしてもらうために、チラシを作成し、市内スーパーや薬局などで配布することになりました。今回の推進会議では、グループワークを行い、チラシをさらに改良するために、意見交換を行いました。

情報量が多いからもっと見やすく！

相談先を分かりやすくしてほしい

難しい言葉をもっとわかりやすく

QRコード等を活用しては？



どのように変化するか
お楽しみに！
ぜひ、スーパーや薬局等
で確認してみてください

生活支援体制整備: 高齢者の生活ごみについて

高齢者にとって、生活ごみの課題は分別、集積所までの運搬など多岐に渡ります。これまでも家族や地域、ヘルパー、シルバー人材センターなどで様々な支援が行われてきました。今回、市内業者から、ごみ出し支援について、何か社会貢献ができないかと相談があり、新たな事業の創出に向け、検討を開始しました。

これから、民生委員の友愛訪問や、健康達人区らびで高齢者の生活ごみの課題について、アンケート調査を行います。その結果を受けて、市内関係者（社協・包括・介護事業所・市役所・）で事業化に向けて、検討を行う予定です。



【編集後記】

今年度第1回の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議を開催しました。昨年度はコロナ禍だったこともあり、オンライン参加の方もいらっしゃいましたが、今回は全員の顔を直接見て話し合うことができ、嬉しかったです。梅雨に入り、じめじめとした暑さが厳しくなってきましたが、体調管理に気を付けながら、乗り越えていきましょう。

